

全苗連だより

Vol. 31 (2月号)

平成29年2月27日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

宮城県苗組 齋藤豊彦氏の第55回農林水産祭日本農林漁業振興会
会長賞受賞記念講演が行われました

～宮城県農林種苗農業協同組合苗木生産技術研修会より～

宮城県苗組 齋藤豊彦氏の第55回農林水産祭日本農林漁業振興会会長賞受賞記念講演をメインにして宮城県農林種苗農業協同組合苗木生産技術研修会が2月24日に宮城県松島町ホテル松島大観荘を会場にして開催されました。

研修は、①「わたしの苗木生産」東松島市 齋藤豊彦氏 ②「苗木生産を巡る昨今の情勢について」全苗連専務理事 安樂勝彦氏 ③「なぜクロマツなのー東日本大震災で被災した海岸防災林の復旧に向けてー」宮城県苗組専務理事 河野裕氏の3氏から講演があり、途中、市議会と重なり到着の遅れた濁沼一孝代表理事組合長の開催の挨拶、質疑応答・意見交換を経て、最後に太田清隆理事副組合長より閉会の挨拶がありました。研修会終了後、齋藤豊彦氏の受賞祝賀会が同ホテルにて盛大に開催されました。齋藤豊彦氏の講演の一部を掲載します。

2017/02/24 宮城県松島町
宮城県苗組研修会「わたしの苗木生産」発表資料

みやぎの海岸林再生をめざす
抵抗性クロマツ優良苗木生産の取組



宮城県東松島市 齋藤 豊彦

宮城県内の苗木生産を巡る情勢

- ・2011/03/11 東日本大震災発生
伊達政宗公の時代から築かれてきた
県内海岸防災林の1,750haに被害
- ・このうちの約1,400haについて、H32年度までに
抵抗性クロマツを中心とした植栽を計画
- ・このため県内の苗木生産者は、これまでのスギ苗を
中心とした生産に加え、抵抗性クロマツコンテナ苗の
増産に取り組んでいる



仙台空港周辺に植栽された抵抗性クロマツ 2016/01/16→

齋藤豊彦苗畑所在地

- ・宮城県中部沿岸地域 日本三景「松島」の東隣
東松島市赤井地内
- ・東日本大震災の津波により東松島市では
市域面積10,186haのうち約3,700haが浸水
- ・沿岸から約4kmの
齋藤苗畑にも津波が
押し寄せ被害を受けた



経営の概要

- ・明治42年に齋藤清五郎が山林種苗生産を開始
齋藤豊彦で4代目
将来、息子が後継者としての意欲を示している
- ・H20年からコンテナ苗生産を開始。
現在は全量がコンテナ苗で抵抗性クロマツを中心に生産
- ・自家労働(本人・妻)&雇用労働1名により生産



生産施設・機械の概要

・生産施設

ビニールハウス2棟 作業場1棟 トラクター2台
散水機6器 スプリンクラー3セット
排水暗渠・明渠 3,000㎡分

・苗圃機械

油圧駆動型コンテナ苗採取機 1台
トラック2台 フォークリフト2.5t 1台
振動キャビティコンテナ培土圧入機1セットを導入
その他

コンテナ苗生産のスタートと目標など

- ・宮城県苗圃では低コスト造林等の一翼を担おうと
コンテナ苗生産を全国に先駆け、H20年度から開始
H28.12現在で、県内生産本数の約68%がコンテナ苗
※山行苗本数:コンテナ590千本/全体の山行本数1,210千本+68%
- ・寶藤苗圃においてもH20年にコンテナ苗生産を開始
現在は、コンテナ苗に完全に移行、これに伴い、苗圃を
自宅周辺に集約し効率化を図る
- ・生産目標は①短期間での製品化 ②完全なる根鉢の形成
- ・コンテナ苗生産のメリット:集約栽培なので全体に目が届く
” デメリット:散水等のため1日も休めない
- ・苗木生産の未来:コンテナ苗生産の初志貫徹、前進あるのみ!

苗圃生産の主な作業スケジュールと労働配分

作業内容 / 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
準備 ハウス修理	→												
培土詰 播種 移植													
防除 除草 散水													
出荷													
圃上げ													
追肥													
圃下ろし													
自家労働力(人)入日/月	16	46	58	59	58	59	58	48	49	46	48	45	590
雇用労働力(人)入日/月	-	11	20	25	16	18	16	9	10	10	9	6	150
労働力計 人日/月	16	57	78	84	74	77	74	57	59	56	57	51	740

最近4か年の苗木生産状況等

年	H26				H27				H28				H29生産予定量		
	樹種	面積	株数	山行本数	面積	株数	山行本数	面積	株数	山行本数	面積	株数	2年生	3年生	計
スギ	17	20	103	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
スギコンテナ			8	2	3		20	14	9	-	-	8	2	0	2
県産スギコンテナ	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	8	8
県産スギコンテナ			54	33	23		108	56	23	-	-	98	135	0	135
計	17	20	165	47	26	-	128	71	26	-	-	107	137	8	145

※コンテナ苗得苗率は90%

寶藤苗圃 経営&技術の概要・特色①

・生産当初、根鉢の崩れや滞水による根腐れがあったが、
現在は、培土の圧縮充填、暗渠設置や川砂敷設により改善

・得苗率向上のため、コンテナの未発芽部分には予め用意し
ていた苗木を移植しコンテナセルを全て活用するこ
とで、最終的な得苗率を90%以上としている

・資材の運搬やコンテナへの培土充填、
苗木の抜き取りなど労働負荷の大きい
作業には機械化を進め、
作業効率を高めている



寶藤苗圃 経営&技術の概要・特色②

・種子は、宮城県林業技術総合センターにおいて生産された
ものを使用するほか、林業種苗の配布区域を遵守し、他県
産(香川県、岡山県等)種子も使用している

・苗圃では、樹種、苗齢、播種年月日及び種子産地等を標識
に明記し、管理の徹底を図っている



コンテナ苗の表示状況

寶藤苗圃 経営&技術の概要・特色③

・病害虫防除については、毎日の見回りと過去の生産記録簿
を参考に薬剤散布時期・使用量を決定しているほか、
コンテナ容器の消毒及びコンテナ設置箇所の土壌消毒も
実施し、被害抑制に取り組んでいる。

・育苗については、日々苗木の状態を確認し、苗高の伸長や
根元径の肥大など、苗木の生育ステージに合わせた目的別
の施肥を実施することで、1年間程度の育苗で出荷を可能
とすることや、均質な苗木生産を図っている

寶藤苗圃 経営&技術の概要・特色④

・出荷に際しては、根鉢の状態や枯枝条の除去に留意し、
健全で均質な苗木出荷を図っている



2017/02/01
東松島市浜市地区



技術の普及など ①

・齋藤苗畑では、コンテナ苗生産開始後間もなくの東日本大震災発生により生産量は一時落ち込んだものの、苗畑の集約化や作業の機械化をはじめ、コンテナ苗への完全な移行など経営改善を進め、現在では被災前以上の本数を生産し、経営的にも安定している

・コンテナ苗生産にいち早く取り組み、これまで培ってきた技術や経営のノウハウについて、県内外からの視察や研修などの機会に広く発表し、技術の普及と継承に努めている



H28年度第1回コンテナ苗生産技術研修会 2016/07/26

技術の普及など ②



国府林職員研修会 2017/01/16



全苗連 全国生産者の集い
群馬県伊豆の国市 2016/10/13

第55回森林水産祭表彰式
東京都 明治神宮 2016/11/23

「わたしの苗木生産」ご静聴ありがとうございました

最後に 苗木生産出荷に際して気をつけること

・ 苗畑において、種子産地、播種日等の管理を徹底



・ 規格外の苗木に注意 特に根元径
・ 根鉢のしっかりしたものを
・ 梱包にも気をつけよう
・ 生産者・出荷先とのより良い関係を

<< 齋藤豊彦氏からの口頭での説明を最後に追加します >>

◎ 高品質のコンテナ苗完成品を目指す 10 の重要ポイント

- ① コンテナの扱い：再生産に使用する古いマルチキャビティコンテナは、洗浄し、また使用直前に殺菌消毒する。
- ② 播種の際の種子の取り扱い：乾燥させすぎない。
種子消毒 ex.農薬名「イチバン」に浸潤処理
鳥害防止用の忌避剤 等
- ③ 日々の苗畑管理：毎日見回り(観察)する。異常を見つけたら即対応する。
病気、害虫(特に大量発生しやすいナメクジ、カタツムリ、ネキリムシ(ヨトウムシ)、コガネムシ、アブラムシ、ミノムシ、シャクトリムシ、シンクイムシ、ゾウムシ等
- ④ 散水状況：水質、水量に留意。
- ⑤ 肥培管理：成長する時期を予測しての施肥設計
N, P, K, その他微量元素,
伸長して軟弱なときはカリを施肥
- ⑥ ベット(床)の状態：成長させたいければ、柔らかい状態にする(下から酸素、水はけ良く、なお、保水性も必要)。

- ⑦ 棚上げのタイミング：その年の成長具合と、気候条件を把握。また棚上げ後、真夏に水分不足を起こして枯損する場合は、一時棚卸しを行い、避難させ回復させる。これは菌根の多いものは水をはじく性質があるため。
- ⑧ 冬越しの状態：管理は降水量に左右される。また、できれば、病虫害防除の一助として、冬期にしかできない、万能薬と呼ばれる「石灰硫黄合剤」の散布を進める。
- ⑨ 出荷時のコンテナ苗は、商品であるという認識を持つこと。
- 形状不良はないか？
規格に合っているか？
根鉢は崩れていないか？
病虫害はついていないか？ 等々、様々な角度から見ること。
- ⑩ 需要者とのより良き関係を図っていくこと。殿様商売は避ける。

会員からの質問に答えて

～金融機関から借り入れる場合の保証制度について～

育苗機械や苗木生産施設等の整備に対する国や都道府県等の公的な助成措置に加えて、その運転資金に対する融資についても充実してほしいという質問に応じて、今回は(独)農林漁業信用基金の信用保証制度についてお聞きました。

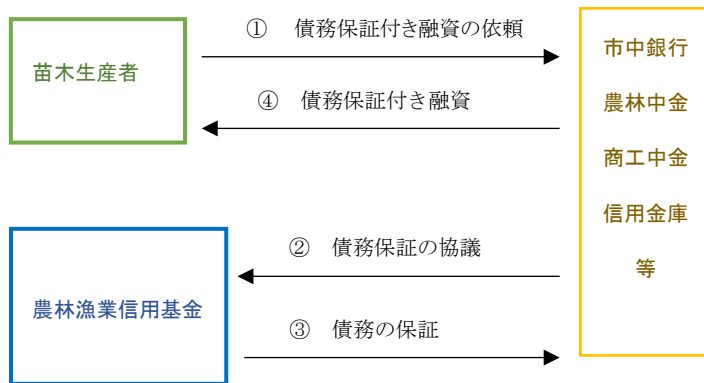
(Q) (独)農林漁業信用基金とはどのような組織ですか。

(A) (独)農林漁業信用基金は、特別な法律で昭和 38 年に設立された公的機関で、国や都道府県の出資を受けながら中小林業者の方々の融資を支援する機関です。

苗木生産者をはじめ、木材産業の健全な発展に資することを目的としています。

(Q) 林業信用保証制度について具体的に教えてください。

(A) コンテナ苗生産のためにハウスや灌水施設を整備する、花粉症対策苗木の生産を拡大するといった時に、お手持ちの資金では足りないことがあると思います。当基金では、苗木生産者の皆様が、その様な時に金融機関(銀行、信用金庫、信用組合など)から資金を借り入れる際に、その借入に係る債務保証(=もし貴方が返済できなくなった時に、基金がその借入金を肩代わりして返済する制度です)を行っています。



【対象となる資金】

苗木の生産を行うための運転資金、設備資金(コンテナ苗の施設整備の補助残融資など)が対象となります。

詳しくは、お近くの銀行、信用金庫、信用組合などの金融機関、又は当基金の窓口へお気軽にお問い合わせ下さい。

また、実際のご利用にあたっては、皆様は、金融機関に「当基金の保証付で運転資金の借入をしたい」旨をお伝えいただければ、あとはその金融機関が当基金に対する保証依頼などの必要な手続きを行って皆様への融資の実行ということになりますが、金融機関の融資や当基金の債務保証のご利用に当たっては一定の審査があることにご留意願います。

(Q) 林業・木材産業改善資金の利用を検討しています。何か有利なことがありますか。

(A) この資金は、林業や木材産業の経営改善を図るための施設や機械の導入等を行う場合に活用できる「無利子」の制度資金です。

この資金の貸付では、都道府県が直接貸付を行うほか、一部の県では民間の金融機関を通じた貸付けも可能です。(取り扱いをしていない金融機関もあるので窓口で確認が必要です)この民間の金融機関を通じた貸付けの場合には当基金の特別に優遇された債務保証が利用可能です。

(Q)「林業成長産業化地域」に該当すると、優遇されると聞きましたが。

(A) 平成 29 年度の事業として、2 月末日まで林野庁で公募されている「林業成長産業化地域」の地域ビジョンを具体化する地域構想の重点プロジェクトにおいて、当基金の債務保証を利用する取り組みが記載されている場合には、特別に優遇された保証を受けることができます。

【具体的な保証内容等】(新規事業)

○保証限度額：通常の保証とは別枠で保証付貸付金額1億円まで ○保証割合：100%

○保証期間：運転資金は5年以内、設備資金は15年以内 ○保証料率：0.10～0.90%

○連帯保証人：法人は原則代表者のみ。個人は原則不要 ○担保：実質無担保

*留意点：本保証を受けるためには、林野庁が指定する「林業成長産業化地域」の地域構想に、当該地域で実施する重点プロジェクトに係る①具体的な取組事項(調達資金の用途・目的)、②取組主体の名称が記載されている必要があります。

「林業成長産業化地域」については、都道府県林務部局次世代林業基盤づくり交付金担当におたずね下さい。

(Q) もう少し詳しく知りたいのですが。

(A) (独)農林漁業信用基金 林業部保証課 (直通電話) 03-3294-5585 まで、お気軽にお問い合わせ下さい。

全苗連・苗組の行事予定

3月14日 平成28年度第3回原木等需給情報共有化対策事業検討委員会(林友ビル)

3月23日 林業退職金共済事業関係第34回運営委員会(JAビル(東京都千代田区))

3月24日 平成28年度第2回林業薬剤協会理事会(学士会館)

9月7日 全苗連生産者の集い(福岡市 都久志(つくし)会館)

～8日

